

今年度もゴールが見えて参りました。
卒業や進級に向けてあわただしい毎日かと思えます。
気持ちよく今年度を締めくくりたいものです。

◆ 第2回の執行役員会を開催しました。

文化学園会議室に執行役員が集まり、今年度第2回の執行役員会を開催いたしました。

全国専門学校日本語教育協会 執行役員会

日 時 2月23日(金) 10:30~12:30

会 場 文化学園 紫苑会館内会議室

出席者 深堀和子 筆頭副会長 (外語ビジネス専門学校)
武田哲一 副会長 (東京外語専門学校)
岩本 仁 副会長 (福岡外語専門学校)
池田俊一 監事 (横浜デザイン学院)
佐藤嘉記 監事 (テクノビジネス横浜保育専門学校)
古屋和雄 理事 (文化外国語専門学校)
西村 学 事務局長 (文化外国語専門学校)

報告事項・検討事項

- ・九州地区研修会
- ・第30回 全国専門学校日本語学習外国人留学生 日本語弁論大会
- ・理事会、総会、総会企画について
- ・新規入会校について
- ・学習者表彰について
- ・来年度予算について



古屋理事 西村事務局長 岩本副会長 深堀筆頭副会長 武田副会長 池田監事 佐藤監事

➤ 九州地区の研修会について

岩本副会長と古屋理事から報告がされ、今後もこのような研修会を開催していく必要性を全会一致で確認いたしました。次の開催地や内容については会員の皆様の声を吸い上げながら企画していこうということも確認されております。

研修会の開催を希望する方は事務局までご一報ください！

➤ 弁論大会について

池田監事、西村事務局長からの報告後、来年度は他団体の弁論大会などを参考に、協賛や後援を増やし、行政や企業の方にも審査員に加わってもらおうという方向でまとめられました。そして、本協会はどのような特徴の弁論大会を目指していくのか、会員の皆様と考えながら進めていくことが確認されました。

➤ 予算について

再スタートにあたりホームページの立ち上げやパンフレットの作成などがありましたが、会員数が増えたこともあり、決算が赤字にならない見通しがたったとの報告が西村事務局長からありました。また、上記のように、来年度も研修会の開催、弁論大会の充実などを目指すことになり、来年度はそれらの事業にきちんと予算を配分していくことが確認されました。

3月の理事会、総会ではこれらのことをふまえた予算を皆様に審議いただくこととなります。

➤ 表彰事業について

前回から継続審議となっていた表彰事業については、事務局の調査結果をもとに、

各校で最も優秀な学生に与えられる「全国専門学校日本語教育協会 会長賞」を来年度から設立、運用する方向となりました。経費面や応募方法などについて、事務局が継続して調査していきます。

➤ 新規会員について

岩本・武田両副会長のご尽力で、来年度から九州地区と関東地区の会員がさらに増えることになりそうです。執行役員会では入会が了承されましたので、今後は規約に則り、理事の皆様からの了承を得ることとなります。近々、会員の皆様に朗報をお伝えすることができると思います。もうしばらくお待ちください。

また、お近くの学校で会員になってもらいたいというような学校があれば、事務局までご連絡ください。ご紹介いただいた学校に、パンフレットや入会案内をすぐに郵送致します！

➤ 総会企画について

衆議院議員で元文部科学大臣の馳浩先生、国際教養大学の橋本洋輔先生にご講演を依頼しています。

全国専門学校日本語教育協会 理事会・総会・総会企画（予定）

日時：3月26日（月）

会場：文化学園 国際会議室・講堂・スペース21

理事会 11:00～12:00

総会 13:00～14:00

総会企画 14:30～15:30

講演 「日本語教育推進基本法について（仮）」

衆議院議員・元文部科学大臣・日本語教育議連 事務局長 馳 浩 氏

15:45～17:15

講演 「学習障害・発達障害について（仮）」

国際教養大学 助教 橋本 洋輔 氏

懇親会 17:30～19:00



講演をより充実したものにしていくために、それぞれの先生に会員の皆様が聞きたいこと、話していただきたいことをとりまとめ、事前にお伝えしようということになりました。つきましては、

馳先生については「情報共有委員会」

橋本先生については「学生対策委員会」

がとりまとめを行うこととなりましたので、委員の皆様は質問疑問などを積極的にお寄せ下さい。

● ゼンセン *Topics*

*「**保育・介護・ビジネス名古屋専門学校**」は協会の理事校としてもお力添えをいただいております。教務課・日本語学科の犬塚先生には、学校の紹介文も添えていただきました。ありがとうございます！

本校は1991年から約27年にわたり留学生の受け入れをしています。本学園の教育理念は、「できなかった子（生徒）をできる子（学生）に。できる子（生徒）はもっとできる子（学生）にするのが教育」というものです。将来実社会で活躍できる優秀な人材を養成するため、教員と学生が近い距離のもとで、共に学び合う姿勢を持ち、学生の「思考力」「創造力」「問題発見・解決能力」を高められるような授業展開に努めています。

漢字一字に思いを込めて

日本語学科にはベトナム・ネパール・カンボジア・ミャンマー出身の学生がいますが、その中でも現在ベトナム人の学生が多く在籍しています。今回はベトナムの旧正月を迎えるにあたって、学生に昨年の一年間を振り返り、漢字一文字で表してもらいました。初めての書道体験で、学生たちは筆づかいに苦戦しながらも楽しんでいました。

文化の違いや勉強に「悩」んだ学生、家族と離れ寂しい思いをしながらも、目標を達成するまで「忍」耐の気持ちで努力を重ねた学生、日本語能力試験に合格し、家族にいい報告ができて「安」心した学生、日本人と会話ができるようになって勉強が「楽」しい！と感じるようになった学生・・・などその漢字一文字一文字に、学生が初めての留学生活で感じた様々な思いが込められていました。そしてその思いは、きっと日本で頑張っている多くの留学生に共通するものでしょう。

親元を離れ、若いながらも日本で頑張っている学生たちが、来年更に成長できることを願います。

保育・介護・ビジネス名古屋専門学校

<https://www.nagoya-college.ac.jp/index.php>



各校の取り組みをゼンセン Topics で紹介します。
事務局までご相談ください！

2018年2月27日
全国専門学校日本語教育協会
ニュースレター担当